

関西聚 活動報告書

活動名:自然学習ゾーン整備

活動日:2019.10.27(日)13:30~15:30

リーダー名: 伊東 俊廣

報告者: 伊東 俊廣

参加者:(一般参加者 3 人 スタッフ 8 人 合計 11 人)

スタッフ:大川 英登、上田 泰史、山本 勲、東川 惇、林 俊、小久保 広宣、岩崎 和子
伊東 俊廣

参加者 :3名(家族 1 組、男性 1 名)

活動内容 :

1. 調査活動

- ・昆虫調査 26種類確認
- ・草本調査 20種類確認

2. カブトムシの幼虫(8匹)を飼育箱に追加

近親交配を防ぐため、カブトムシを育てている方から幼虫を譲り受け、飼育箱に入れた。
シイタケの出なくなったホダギを、餌ように入れておいた。

3. クヌギの実生を植木鉢へ植え替え

事前の下見で、目印の黄色いリボンを付けておいたクヌギの実生を予定していたが、
次回に実施する。

自然学習ゾーンには沢山のクヌギの実生が見られ、台風による倒木後の移植苗として
利用可能。

4. 自然学習ゾーン内の植栽樹木の現状調査

ヤマザクラが 1 本だけになってしまったのは残念、今年度もう少し増やしたい。

活動報告・感想など

交野の活動に参加してくれている親子が、京都から来てくれた。子供さんは植物に非常に
興味があり、今年のGS試験も合格、今後が楽しみだ。

植栽樹木の調査中、サンショウの木にアゲハの幼虫が沢山張り付いていた。きれいな緑色で
このままそっとしておきたいが、サンショウの葉はほとんど残っていない。サンショウも大事、
アゲハも大事、皆さんどうしますか。

植栽したマユミにきれいなピンク色の実が沢山なっています。マユミは雌雄異株とのことで、
確かに実のなっていない木もある。またイヌビワも育って来て実を付けているが、これも
雄株のようだ。それでも少しずつ森の中にもぎやかに、華やかになってきている。